

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社フィールズ

② 施設・事業所情報

名称：アズハイム綱島		種別：特定施設入居者生活介護 (有料老人ホーム)	
代表者氏名：立花 知		定員（利用人数）： 80 名	
所在地：〒230-0071 横浜市鶴見区駒岡 4-29-1			
TEL：045-710-0680		ホームページ：https://as-heim.com	
【施設・事業所の概要】			
開設年月日：2021年4月1日			
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社 アズパートナーズ			
職員数	常勤職員： 40 名		非常勤職員 13 名
専門職員	（専門職の名称） 名		
	介護福祉士： 14名		初任者研修：19名
	介護支援専門員：1名		看護師： 3名
	実務者研修： 4名		作業療法士： 1名
施設・設備 の概要	（居室数）		（設備等）
	80室		ラウンジ、相談室、食堂、厨房、 浴室、トイレ、健康管理室、事務 室、洗濯室、汚物処理室、機能訓 練コーナー、庭園、エレベーター

③理念・基本方針

<会社理念～5つの誓い>

- 1 ご入居者の方々とそのご家族の意志と希望を尊重し、お客様第一主義の精神で対応することを心がけます。
- 2 心のこもったふれあいの精神を常に心がけ、身体介護だけにとどまらず対話を通しての精神的なサポートを行う事を心がけます。
- 3 安心・安全の暮らしを大前提としながら自由を抑制しない方針で、ご入居者の方々のケアを行う事を心がけます。
- 4 ホームの衛生・安全面に十分配慮し、快適な住空間を提供することを心がけます。
- 5 ご入居者の方々お一人お一人の生きてきた人生を尊重し、いつまでも自分らしい生活を送れるよう心がけます。

<会社基本方針～サービスコンセプト5本の柱>

- 1 医療:ドクターと一緒に健康をサポート
- 2 認知症ケア:安心して自分らしく暮らす
- 3 リハビリテーション:1日1回体を動かす
- 4 アクティビティ:メリハリのある暮らし
- 5 地域:地域と一緒に年をとる

④施設・事業所の特徴的な取組

令和3年3月にオープンした新しいホームです。勤務しているケアスタッフは、アズハイムの他の事業所から異動してきたメンバーと、2021年入社の新卒スタッフ、中途入社スタッフで構成されています。介護に関わる人員体制は2.0：1以上となっており、より個別性に溢れたケアの実践を目指しています。現在60名のご入居者は在宅生活からご入居いただいた方が多く、意欲の向上や役割の提供を通じてより「自分らしさ」を引き出す介護を目指しています。

入居時には居室担当スタッフが誰よりも先にお迎えすることで、ご入居者に安心して暮らしていただける環境を整えています。日中の活動も1日2回の体操や、ご自分で選択してご参加いただけるレクリエーションをご用意しております。特に午前中の体操では、「排便体操」を取り入れており、下剤に頼らない自然な排泄を目指し、薬剤の適正化を図っています。日中の活動量を増やす事で、夜間の睡眠効率の安定につながっています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和4年4月11日（契約日） ～ 令和4年7月13日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	－ 回（ 年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

1)お客様第一主義に基づき入居者を尊重しています

事業所では、入居者がその人らしくこうありたいという希望や願望を実現していくためのサービス提供を基本としています。従って、支援やサービスは個別にその人の生活目標に沿ったプログラムを提供し、できることは自分で行い機能を維持すること、入居前の趣味や興味関心を継続すること、そのために体調を整え精神的にも安心して過ごせる環境づくりへの取組を大切にしています。スタッフの笑顔での対応、薬に頼らない排便への取組などに力を入れています。

前提として、入居者の尊厳を守るための虐待防止や身体拘束防止、プライバシーの尊重、接遇についての研修を必須とし、日常的なケアの改善・向上に努めています。

2)情報共有の仕組みを作り実践しています

スタッフ全員が、ホームで行われているほぼ全てのケアや入居者情報について、携帯しているスマートフォンで随時確認できるシステムを導入しています。ケア記録には、提供した支援や出来事をその都度打ち込むことで、全スタッフがリアルタイムで情報の共有ができ、それに基づく入居者対応が実現しています。結果として入居者一人ひとりへのきめ細かなケアの充実に繋がっています。

3)専門職と連携して入居者の生活の自立度を進め、質の向上を図っています

看護師、機能訓練指導員、歯科医師などの専門職と連携し、入居者一人ひとりの生活能力、動作能力に関するアセスメントをきめ細かく行い、入居者自身でできることを増やすよう取り組んでいます。歩行支援では動画解析アプリを活用することで、スタッフ誰もが訓練方法を習得し実施しています。褥瘡の改善、適切な口腔ケア、嚥下機能の評価など、生活の質の向上に成果を上げています。

4)事業計画を充実させ利用者・職員と共有することが望まれます

法人の理念実現に向けた中・長期計画に基づいて、その年の事業計画が策定されることとなりますが、中・長期計画の可視化及び情報共有がされていません。現在では人材不足と職員のレベルアップが課題となっています。事業所として収支計画や人材育

成、組織体制など課題解決に向けた事業計画作成とともに、利用者・職員と共有することが期待されます。

5) 地域との交流に取り組むことが期待されます

法人のサービスコンセプトの一つに、「地域と一緒に年をとる」ことが謳われています。しかし、事業所開設が新型コロナウイルス感染防止対策の必要な時期であったこともあり、地域との交流が殆どなされていません。ホーム長は、ホームが事業所で働くスタッフの子ども達やこの地域で育つ子どもたちにとって、また社会や地域にとって大切な資源となること、地域の人々との交流が入居者の生きがいとなることなどを目指しています。ボランティアの受け入れも含め、実現に向けた環境整備や工夫が期待されます。

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

この度は、第三者評価を受審させていただき、誠にありがとうございました。結果の内容から、日頃の業務の見直し、できていること、できていない事、今後さらに努力が必要な事などを客観的に確認させていただく事ができました。

今回の結果を、維持・継続・向上できるように、日々のホーム運営に取り組んでまいりたいと思います。

心より、お礼を申し上げます。

⑧ 第三者評価結果

別紙2のとおり